



目次

新連載・教員エッセイ・・・p1～2

図書館サポーターWELL 2026 夏の遠足レポート・・・p2～3

図書館は、こんなことをはじめました・・・p3

図書館からのお知らせ・・・p4

🍁🍁🍁 図書館だより 2.0 🍁🍁🍁

『図書館だより』の第1号は、1965年9月20日に発行されました。当時はまだ、東洋英和女学院短期大学図書館で、文庫本ほどのサイズの紙に片側1面だけ印刷されたもので、内容は、蔵書数が18,000冊を超えたことから配架フロアを分けなければならなくなり、それに伴い利用方法が変更となるといった手書きのお知らせでした。

以降、刊行頻度やサイズ、ページ数を変更しながらも、図書館からのお知らせや、教職員のおすすめの本、便利な図書館サービスなど、利用者と図書館をつなぐ内容をお伝えしてきました。

昨年実施した図書館だよりに関するアンケートではたくさんのご意見をいただきましたが、中でも一番要望が多かった先生方のエッセイを、さっそく本号からスタートさせたいと思います。英和の先生方から、本や図書館、読書にまつわるあれこれについてお寄せいただき、『図書館だより』でお伝えしようと考えております。

また、次に要望が多かった図書館や本の情報も、より多くご紹介するようにしていきますので、今後とも『図書館だより』をよろしくお願いいたします。

新連載・教員エッセイ 【第1回】 国際学科・准教授 堀川 敏寛 先生

人魂の天ぷらから始まる読書のすすめ

私が読書に熱中した最初の思い出は、小学生の頃に出会った「水木しげるのおばけ学校」シリーズです。当時、学校の図書館ではマンガが禁止されていましたが、このシリーズは活字の本として置かれていました。いつも誰かが借りている人気の本で、読みたい一冊が返却されていないか、一日に何度も図書館へ確かめに行ったことを覚えています。

なかでも『おばけレストラン』という物語は、幼い私に強烈な印象を残しました。のっぺらぼうが夜の森で「人魂」を虫取り網で捕まえ、たらいの水の中で保存し、最後には天ぷらにして山奥のレストランで客に振る舞うのです。人魂をナイフで切り、恐る恐る食べるねずみ男の挿絵は、今でも鮮明に記憶に残っています。本来は目に見えず、触れることもできない「魂」を捕まえ、保存し、料理して食べてしまう。子どもの私は、怖さを感じながらも、日常の常識を軽々と越えていく物語の想像力に魅了されていました。

当時の私にとって、こうしたファンタジーは、日常から少し離れるための大切な時間でもありました。路面電車とバスで学校へ通い、先生に叱られ、家では親の顔色をうかがう。そんな日々のな

かで、本を開いている時間だけは、現実とは違う世界へ行くことができたのです。

面白いのは、小学生の頃に出会ったこの「人魂」が、今の私の仕事にもつながっていることです。先ほどの授業では、プラトンの『パイドン』を通して、魂の不死について説明しました。振り返ってみれば、私が「魂」というものを初めて強烈なイメージとして意識したのは、哲学書ではなく、水木しげるの描いた人魂だったのかもしれませんが。

皆さんも、自分を魅了する本なら何でもよいので、ぜひ読んでみてください。そのときはただ面白いと感じただけでも、そこで出会った言葉や物語、イメージが、何年も後に自分の仕事や考え方や結びつくことがあります。一冊の本が、まだ自分にも見えていない未来の方向を、静かに形づけてくれるかもしれません。

図書館サポーターWELL 2026 夏の遠足レポート



図書館サポーターWELL は、毎年夏休みの終わり頃、遠足と称して、WELL メンバーが行ってみたい博物館や図書館を見学したり、紀伊國屋書店新宿本店など大型書店での選書ツアーを行っています。

今年は、9月10日（木）に、学部生9名と司書2名で、上野の国際子ども図書館の見学と、紀伊國屋書店新宿本店での選書ツアー＆POP 講習会を楽しみました。

初参加の1年生3名にレポートをお寄せいただきましたので、ご紹介いたします。



【総合心理学科1年 D. K.さん】

今回、WELL に入ってから初めての遠足として、国際子ども図書館の見学と、紀伊國屋書店新宿本店での選書・POP 講習会に参加しました。

国際子ども図書館では、国際子ども図書館の歴史や館内に所蔵されている膨大な数の書籍についてなど、さまざまなお話を伺いました。特に印象に残ったのは、本を運ぶためのエレベーターがあることです。現在は枠だけが記念として残っている状態ですが、図書館の長い歴史を感じるものの一つとして、とても興味深かったです。ツアーが終わった後に自由時間をほぼ全て使って館内を見学しましたが、それでも時間が足りなくなるほど、気になる本や館内に見応えがありました。今回だけでは回り切れなかったところもあるので、また個人的に訪れてみたいと思います。



紀伊國屋書店新宿本店では、初めて選書を体験しました。東洋英和の大学図書館に加える本を選ぶということで、「どのような本ならみんなが興味を持ってくれるだろうか」と考えながら、自分自身も読みたいと思える本を探ことができ、とても楽しかったです。1階から8階まである大きな書店だったため、興味を引かれる本がたくさんあり、あれもこれもと選んでしまいそうになりました。

POP 講習会では、過去に POP を作成した方の作品を見ながら、どのような配色やデザインがお客様の目を引くのかについて学びました。12月には新宿本店に自分たちの POP を置かせていただけるということなので、今回の講習会で学んだことを活かし、手に取ってもらえるような最高の POP を作りたいと思います。

【総合心理学科1年 F. S.さん】

WELLの夏休みの遠足では、国際子ども図書館と新宿の紀伊國屋書店を訪れました。国際子ども図書館では、館内を見学し、子どもたちが本に親しめるような工夫や、国によって翻訳や絵を変えるなどの工夫や国際子ども図書館の歴史、図書館の役割について学びました。

紀伊國屋書店では、実際に本を見ながら選書を行い、本の魅力を伝えるPOPの書き方についても学びました。普段とは違った視点から本に触れることができ、図書館や本の魅力を改めて感じるとともに、今後のWELLの活動にも活かしたいと思いました。



【総合心理学科1年 M. Y.さん】

初めてのWELLの課外活動として、国際子ども図書館と紀伊國屋書店新宿本店に行きました。私にとってはどちらも初めて訪れる場所だったため、とてもワクワクしながら向かいました。



先に向かった上野の国際子ども図書館は、外観から見どころが満載でした。近代的なガラス張りの玄関がある一方で、一面の煉瓦壁や連なる窓、細やかな装飾からはレトロな雰囲気漂い、建物に入る前からワクワクしました。受付後にはガイドさんが館の歴史を説明しながら館内を案内してくださいました。その中で特に新鮮だったのは、建物の外観を通して明治・昭和・平成という時代の移り変わりを視覚的に感じられるという解説でした。

次に向かった紀伊國屋書店では、「気になる本を探してPOPを作る」という活動を行いました。時間の都合で実際にPOPを作成するまでは至りませんでしたが、効果的なPOPの作り方やパターンの種類などを丁寧に説明していただきました。階ごとにジャンルが分かれているような大型書店を訪れたのは初めてでしたが、本の並べ方一つをとっても様々な工夫があり、客を飽きさせず手に取ってもらうための工夫が散りばめられていました。これまで意識したことのない視点で本棚を眺めることができ、非常に有意義な時間となりました。

図書館は、こんなことをはじめました！



Toyo Eiwa University Library Passport Program

今年の4月1日(水)から、女子高校生および大学受験を希望する女性の方を対象に、本学図書館をいつでもご利用いただくことができるサービス「Toyo Eiwa University Library Passport Program」を開始しました。最近、館内で高校生らしい子たちが勉強したり、DVDを視聴したりする姿を目にすることがあるかもしれませんが、そのためです。

所蔵資料や館内施設をご利用いただけるほか、登録をしていただくと、資料の貸出も可能になり、希望する方には、司書が探究学習のお手伝いもいたします。

お近くやお知り合いに女子高校生や大学受験を希望する女性がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。



土日一般開放

地域社会に貢献することを目的に、9月19日（土）から、土日一般開放をスタートしました。図書館1Fのみの限定開放ですが、神奈川県在住・在学・在勤の方でしたら、どなたでもご利用いただけます。開館時間は10時～16時、入館料は無料で、事前予約制（英和生、教職員も予約フォームからの事前予約が必要です）です。

入試やオープンキャンパスなど大学行事がある日、補講日は対象外のため、土日一般開放の開館カレンダーは通常のカレンダーとは別に用意しています。詳しくは、図書館ウェブサイトの利用案内をご覧ください。

一般開放カレンダー



来館予約フォーム



利用案内他



図書館からのお知らせ



リモートアクセスサービスが「MyLOFT」に変わります

本学が契約している電子コンテンツ（電子ブック・ジャーナル、新聞記事データベースなど）に、自宅のPCやスマートフォンからアクセスできるリモートアクセスサービスとして、現在「RemoteXs」を利用しています。「RemoteXs」が2026年10月でサービスを終了するため、後継サービスの「MyLOFT」に変更いたします。

詳細はe-pass等でお知らせしますが、「MyLOFT」初回ログイン時に、パスワード設定が必要となります。ウェルカムメール（2026年10月15日送信予定）が届きましたら、ご自身でパスワードを設定し、ご利用ください。ご不明な点がございましたら、図書館カウンター、もしくは図書館代表メール（libweb@toyoeiwa.ac.jp）へお問い合わせください。



図書館だよりは図書館ウェブサイトからバックナンバーも見ることができます

<https://sites.google.com/toyoeiwa.ac.jp/library/kankou/toshokandayori>



もっとこんなことを載せてほしいなど、ご意見はいつでも募集しています。新連載・教員エッセイのタイトルも付けたいので、素敵なタイトルを思いついた方は、ぜひお寄せください。

（編集担当：青山）